



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

#### Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

LOJAPR07/13- No.104

FAO(国際連合食糧農業機関)日本事務所

2007 年 11 月 15 日

## プレスリリース

### 農家への支払いは環境保全につながるか？

### F A O 2007 年食料農業白書発行される

ローマ、2007 年 11 月 15 日 – 慎重に対象を絞った農家への支払いが環境保全や気候変動、生物多様性の喪失、水資源への増大する懸念へのアプローチの一つとなり得る、と F A O は本日「2007 年食料農業白書」で述べた。

しかしながら、同報告書は環境サービスへの支払いがすべての状況において必ずしも最善の解決策というわけではなく、施行には重大な課題が残されていると注意を喚起した。

「農業は人間の行う活動の中で最も多くの人を雇用し、最も多くの土地と水を使用し、農業、畜産業、漁業、林業に直接生活を依存している 20 億人以上の人々の決定によって、地球の土地、水、環境、生物資源を悪化させる可能性も、また向上させる可能性もある。これらの人々に適切なインセンティブを与えることが不可欠だ。」と F A O 事務局長ジャック・ディウフは報告書の序文で述べている。

人口増加、急激な経済成長、バイオ燃料への増大する需要そして気候変動が世界中で環境資源に負荷を与えている。例えば、2050 年には 60 億から 90 億に増加する世界人口に農業は対応しなければならないのである。

環境悪化の重要な原因の一つは自然の恩恵の多くが無料だという認識である。誰もが自然を所有せず、それからの見返りが無いため、農家は環境保全に対してインセンティブをほとんど感じない。加えて、他の環境システムを犠牲にして市場商品の生産を促す助成金は、環境の悪化に拍車をかけることになる。

#### インセンティブ

現在のインセンティブは食品、繊維、そしてより以上にバイオ燃料の生産に対して恩恵を与えがちだが、炭素の固定、洪水調整、きれいな水の提供または生物多様性の保全などという農家が提供できる他の有益なサービスを典型的に過小評価している。

農家は環境に配慮した活動ができるが、そのためにはインセンティブが必要である。環境サービスへの支払いは改良型農業慣行に向けたインセンティブを増やす一つの方法だが、他の産業での公害を相殺する可能性も持っている。しかしながら、「もし農業雇用の需要の減少や食料価格の上昇につながる場合には、支払いは貧困や食料安全保障にも悪い影響を与えうる。」とディウフ事務局長は言及した。

## 炭素の貯蔵庫

F A O の報告書は気候変動の影響を緩和するには農家が重要な役割を果たす必要がある、と述べている。

農業は特に、土、植物、木の中に炭素などの温室ガスを隔離し、貯えることによって炭素の貯蔵庫という重要な役割を果たす。森林伐採を減らし、植林を進め、耕起を減らし、土のカバーを増やし、草原地の管理を改善することが、2003 年から 2012 年の間に例えば 50 カ国で 20 億トン以上の炭酸ガスの貯蔵につながりうるという。

「よく計画された環境サービスへの支払いは、農家の土地利用慣行を変更し、農業をより環境にやさしいものにする手助けをする一つの方法であり、農家が提供できる実際のサービスに対する支払いです。農家が生産する米やコーヒーに代価が支払われるのと同じです。」とレズリー・リッパー上級環境エコノミストは言う。

## 支払いプログラム

報告書は支払いは農家、コミュニティ、納税者、消費者、企業そして政府が関与する自発的な取引としてさまざまな形でありうるとする。直接政府から生産者への支払いという形でもありうるし、例えば消費者が日陰で栽培されたコーヒー豆のコーヒー一杯には大目に支払うという間接的支払いもありうる。

環境サービスに対する何百という支払いプログラムが現在世界で実施されている。主要なものは森林保全イニシアティブである。「しかし、環境サービスのためのプログラムのうち開発途上国での農家や農地を対象にしているものは比較的少ない。」と報告書は述べる。

「もし適切に策定されれば、環境サービスへの支払いは脆弱なエコシステムの中で暮らす開発途上国の 10 億人以上の貧しい人々の多くにも利益をもたらすかもしれません」とリッパーは言う。このためには慎重に対象を絞るとともに、環境サービスの提供をモニタリングする措置が必要となる。

英文サイト：<http://www.fao.org/newsroom/en/news/2007/1000698/index.html>

農業白書サイト：[http://www.fao.org/es/esa/en/pubs\\_sofa.htm](http://www.fao.org/es/esa/en/pubs_sofa.htm)

お問合せ：国際連合食糧農業機関日本事務所 担当 宮道

Tel: 045-222-1101, Fax: 045-222-1103, Email: FAO-Japan-Info@fao.org

URL- [www.fao.or.jp](http://www.fao.or.jp), [www.fao.org](http://www.fao.org)